

まちかどネットワーク



長通りにお住まいの池谷良三さんのお宅で、パッションフルーツの花が咲きました。食べた後の種をまいておいたら、グチヤグチャと発芽。そのうちの一本は立派に育ち、花が咲いて実になりました。

パッションフルーツは、ブラジルが原産。露地でこんなに育つのは、とても珍しいそうです。うまくいけば、8月中旬が食べごろとか。ビタミンCいっぱいのこの果物を、家族みんながとても楽しみにしています。

▶おいしい
Gostoso (ゴストーゾ)

▶またあした
Ate amanha (アテ アマニヤン)

▶すみません
Perdão (ペル ダオ)

▶はい
Sim (スイン)



▶ダニエル君(右)と
ウイリアン君

お便りください

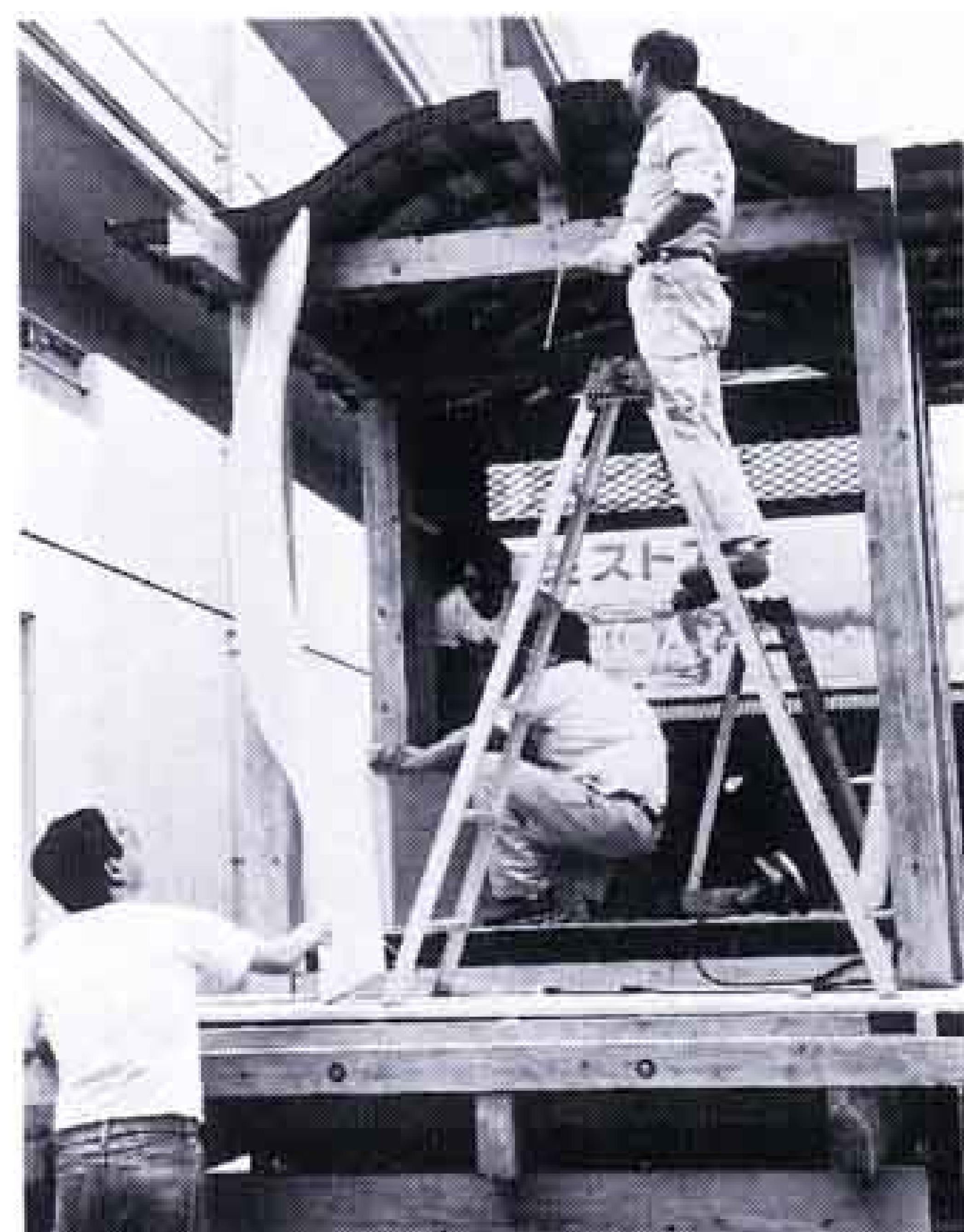
このコーナーは、皆さん地域の話題をお届けしています。広報広聴課 51-0123内線2823へお便りください。



できたての熱いパンを、ひとり暮らしのお年寄りに食べてもらおうと、鷹岡地区の民生・児童委員婦人部の皆さん、パンづくりに挑戦。

一回目のきょうは、とりあえず試作パンづくり。お年寄りに食べていただきのだからと、天然酵母を使い、添加物なしの安全パン。味だつて、自分たちが食べて納得しなければ配れないと考えるほどのこだわりよう。

幸い、試作パンのできは上々。「この次からは配れそうだね」と、自信満々の皆さんでした。



手づくりの山車は、八月一日の甲子祭りでお披露目されます。
※七月十二日に取材しました。

平垣三町内は、子供会と太鼓保存会が一緒にになって、ただいま山車づくりの真っ最中。何しろ町内の中には、大工さんに電気屋さん、自動車屋さんありますから、山車づくりなんかもお手の物。

ただ、それぞれの仕事柄、日曜日だけしかつくれないのが悩みの種。それでも、七月中には完成させなければと、作業する手に力が入ります。みんなの

三回目は、吉田久雄さんから聞いた「ブラジル経済ミニ情報」。ブラジルは、コーヒー・綿花・ゴム・砂糖の産地として有名ですが、最近では工業化も急速に進んでいます。

政府が保障する一ヶ月の最低賃金は一万円。一般的な労働者の平均は、一万円から三万円くらい。三万円もらえば、もう高給取りです。

日本が、いくら景気が悪くなつた、物価が高いと言つても、

賃金は比べものにはなりません。だから、一たんブラジルに戻つても、また日本に来て働きたいと思っている人は、とても多いのだそうです。

※吉田さんのお宅には、ダニエル君(四才)と、ウイリアン君(二才)と言う二人のお孫さんがいます。日本語は、もうペラペラ。どちらかというと、ウイリアン君の方がうまいとか。日本に来て、一人が最初に覚えた言葉は、テレビで見た「新発売」と「バカ」ですって。

話してみましょ

ポルトガル語で

(3)

このコーナーの情報は、まちかどネットワークさんからいただきました。